

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	みどり保育園	施設種別	保育所 (旧体系 :)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成21年2月27日

総 評	<p>みどり保育園は、福知山駅南側の丘陵地帯に位置した閑静な住宅街の中にあります。園の周囲は自然が豊かで「太陽と土と豊かな心」を保育テーマに掲げ、生き生きと育つ環境として太陽や土のもと、草花や木々など自然の中で育ち、学び、友達を思いやる心や豊かな心を育てることを目指して保育を実施しています。</p> <p>また、園庭の畑では、野菜や果物を栽培し、収穫した野菜などを料理・食する体験を食育活動として取り入れています。</p> <p>さらに、厨房から出る生ゴミは、生ゴミ処理機で堆肥として活用しています。</p> <p>園舎内は、床暖房を設置するなど、心地よく生活できる環境が整備されています。また、障害児の受け入れを積極的に行うなど、子ども一人ひとりを尊重する保育を心がけています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営状況の把握 社会福祉事業の動向、事業経営をとりまく環境を的確に把握しています。 ・ 地域との交流と連携 保育園が有する機能を地域に還元し、福祉ニーズに基づく事業・活動が行われ、利用者と地域とのかかわりを大切にしています。 ・ 子どもの発達援助 常に自然とかかわりを持ちながら、これらを保育や食育に活かし、人間関係を育む取り組みを行っています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の教育・研修の基本姿勢を明示し、評価・分析した結果を研修計画に反映されるとなお良いでしょう。 ・ 緊急時における対応マニュアル及び体制作り、事故防止対策等の仕組みの整備を図られるとなお良いでしょう。 ・ 保育サービス内容・質の向上に向け、定期的に評価・分析を行い、評価結果に基づく課題に対し、改善策・改善計画を立て実施されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	みどり保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成21年2月27日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	C	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	C	B
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	B	B
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

■法人の保育理念、保育方針を明文化し、職員には職員会議で周知しています。園の基本方針は入園のしおりに明記し、入園説明会等において保護者に説明しています。地域に対して保育理念を明記したパンフレットや広報誌を作成し、配布するとなお良いでしょう。

■事業計画は園長がリーダーとなり、職員の意見を反映しながら策定しています。職員には職員会議で事業計画を説明しています。それらの内容を保護者へ周知する取り組みを行うとなお良いでしょう。

■園長は自らの役割と責任について、職員会議において表明しています。また、職員会議のほか井戸端会議(ミニ職員会議)等を通じて職員との連携を図って保育の質の向上に取り組んでいます。各種団体の冊子や広報誌の閲覧、研修会の参加により法令順守や倫理を正しく理解するように努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

■園長は福知山市民間保育協議会や園長会に加入し、社会福祉事業や事業経営を取り巻く環境を把握するよう努めています。また、地域の子育て児童センターで子育て講演会を開催するなど福祉サービス全体の動向を注視した事業経営を行っています。

■障害児の受け入れや延長保育などのための必要な人材の確保を計画的に行っています。職員の意向や意見の聴取は主任保育士と話し合いながら対応しています。

■職員の福利厚生は保険の加入など総合的な取り組みをしています。

■職員の教育・研修の基本姿勢は、職員会議で園長が明示していますが、それらの記録等が見受けられませんでした。基本姿勢に沿って職員一人ひとりの研修計画を策定し、研修成果を評価・分析して、その結果を研修計画に反映するとお良いでしょう。

■実習生の受け入れは主任保育士が中心となって行っています。実習意義や方針を明文化し、マニュアルを作成するとお良いでしょう。

■子どもの安全を守るため、年度始めに職員会議で園舎内、園庭、園外の危険箇所の見回りを行っています。定期的にマニュアルを見直し、ケガの報告書を作成、点検するとお良いでしょう。

■地域の関係機関をリスト化し、各種団体と連携を図っています。夏祭りやふれあい会を開催し、地域住民との交流を持って福祉ニーズを把握しています。他の保育園、小学校、中学校と連携して地域で挨拶運動を行っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	B	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	B	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	B	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	C	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	B	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	B	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	C	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	C	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	C	B	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	C	B	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

■年1回、家庭訪問を行い、連絡ノートにて情報交換を行うなど、日々家庭との連携を図っています。今後、利用者アンケート等を実施するとお良いでしょう。

■プライバシー保護については、職員間で連携しながら対応しています。マニュアル等の整備をするとお良いでしょう。

■苦情解決の仕組みは整備しており、保護者には入園説明会で周知すると共に園内に苦情解決処理体制を掲示しています。

■保護者からの意見・要望等については、日々連絡ノート等により把握し、迅速に保護者にフィードバックすると同時に全職員がその情報を共有しています。

■自己評価は担当委員を決めて行っています。記録をし、評価結果を分析、検討し、具体的な改善につなげることができるとお良いでしょう。

■サービスの標準的な実施方法は、その都度会議で職員や保護者からの意見を反映して見直しを行なっています。

■子ども一人ひとりの記録は事務室で保管し、記録管理に関する規定は整備しています。

■記録類は園内で統一した様式で記録しています。年間指導計画や月の指導計画は策定しており、定期的に評価・見直しを実施しています。今後は見直した内容を次の指導計画に反映させるとお良いでしょう。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	みどり保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成21年2月27日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	B	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

- 保育方針に基づいて保育計画を策定しています。指導計画はクラス担当が作成し、主任保育士が点検して評価・見直しを行っています。
- 健康管理のマニュアルを作成し、職員が一人ひとりの健康状況の把握に努めています。健康診断、歯科健診の結果は保護者に伝達すると同時に職員間でも情報を共有し、保育に反映しています。
- 子どもの食事は、基本的にはクラスごとに保育室でとっていますが、ホールで全クラス一緒に食事をとったり、季節に合わせて園庭や公園で食事を行うなど様々な形態で食事を楽しんでいます。園庭に畑があり子どもたちが育てた野菜が給食に出されます。収穫に合わせて芋汁やすき焼きなどが、毎年、恒例で行われ保護者や地域の方も招待しています。
- 全園児に毎朝、そしゃく力を養うため、また、カルシウム摂取も含め、手作りのじゃこするめを提供しています。
- アレルギーを持つ子どもに対しては、主治医の指示のもと保護者、担任、調理師が話し合い、一人ひとりに配慮した食事が提供できるよう対応しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けられないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

- トイレは清潔に保たれ手洗いはペーパータオル、エアータオルを使用して衛生管理を保っています。
- 園の周辺は豊かな自然に囲まれた環境です。園外保育では豊かな自然とふれ合い、季節感を取り入れた保育を行なっています。
- 保育室には子どもたちが自由に取り出せる玩具を用意しています。子どもたちが自分であそびコーナーを作り保育士が見守っています。
- 異年齢児のグループ(花の輪グループ)活動により行事、散歩、畑仕事等で人間関係を育む取り組みを実施しています。
- 長時間にわたる保育については、子どもがくつろげるスペースを設け、異年齢の子ども同士で遊べる環境作りをしています。
- 障害児保育の受け入れは積極的に行っており、障害児の生活に合わせた計画や家庭との連携を密にとっています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	B
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当
A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	非該当	非該当
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	非該当	非該当

【自由記述欄】

- 日常的に保護者へ送迎時に声を掛け、話を聞いて情報の交換を行っています。また、必要に応じて懇談の場を設けています。家庭の状況は、全園児を対象に家庭訪問を行い記録しています。
- 虐待について、園長の指示のもと、職員間で意思統一を図り、適切な対応が出来る体制を整えています。マニュアルを整備するとお良いでしょう。
- 衛生管理や食中毒に関する資料は、クラスに備えています。定期的な検討を行いマニュアルを整備するとお良いでしょう。